

令和6年度学校保健・学校安全・学校給食表彰 (文部科学大臣表彰) について

1 表彰の趣旨

学校保健の普及と向上に尽力し多大の成果をあげた個人、学校及び団体、並びに学校給食の普及とその充実を図るため、学校給食の実施に関し、優秀な成果をあげた学校、共同調理場、功績のあった個人及び団体を文部科学大臣が表彰します。

2 本県の被表彰者（令和6年度学校保健及び学校給食表彰（文部科学大臣表彰））

① 学校保健関係

〔個人〕 千田 史郎（せんだ しろう）学校医

奈良市立富雄北幼稚園及び奈良市立富雄北小学校をはじめ、多数の学校（園）において通算32年の永きにわたり、学校医（園医）を継続して務めており、児童園児の健康増進に寄与している。

また、奈良市医師会学校医部会の活動を通し、地域の学校医の資質向上や育成に尽力している。

さらに、奈良市休日夜間診療所業務に10年にわたり従事し、市民の予防衛生の向上と健康の増進のため地域医療にも貢献している。

〔個人〕 吉野 修史（よしの おさふみ）学校歯科医

橿原市立畝傍北小学校の学校歯科医を49年余の永きにわたり務め、児童の口腔と歯を通して健康の保持増進のためにひたすら尽力し、学校歯科保健の発展と向上に寄与した功績は顕著である。

口腔衛生の知識の普及を図るとともに8020運動の普及や健康なら21計画を積極的に推進し、健康増進法に掲げられた事業等にも精力的に取り組み、学校保健活動をはじめ地域の歯科保健向上に大いに貢献している。

〔個人〕 隅田 重義（すみだ しげよし）学校薬剤師

30年余の永きにわたり、学校薬剤師として児童生徒の保健管理、学校環境衛生の維持向上に努めてきた。また平成16年より10年間、奈良県薬剤師会学校薬剤師部会長を務め、部会員の知識向上のため、各種研修会を意欲的に企画開催し、学校保健活動の充実に尽力している。

「学校環境衛生基準」に基づいた定期検査を各地域において円滑に実施するため、部会長として奈良県教育委員会に要望し、県立学校における検査費用の予算化を実現した。部会員に対しては検査マニュアルを作成し、環境検査講習会を実施するなど環境衛生検査の意義について理解を深め、知識向上に寄与し、奈良県における学校環境衛生検査の基礎を築いた功績は誠に顕著である。また、薬物乱用防止指導員やスポーツファーマシストとしても活動し、多数の学校において薬物乱用防止教室にて講義を行い、生徒や教職員の薬物に対する意識向上を図るなど、長年にわたり薬物乱用防止啓発活動に尽力してきた功績は大きい。

〔個人〕 檜垣 志保（ひがき しほ）奈良市立三碓小学校 校長

昭和62年より奈良県公立小学校養護教諭として勤務。平成16年から平成19年の2期4年間、奈良県養護教育研究会の理事として研修、研究、運営に携わる。平成25年より奈良県教育委員会事務局保健体育課指導主事となり、養護教諭の目線に立ち、寄り添いながら専門的な知識や情報を的確に伝達し、県内の児童生徒の健康課題解決のために養護教諭の職務を遂行できるよう熱心に指導助言に努めた。また県内外の様々な研究大会、研究会の講師として指導を行い、養護教諭の資質向上に尽力している。

令和元年度より奈良市内小学校の教頭、令和2年度より校長として勤務し、管理職の立場となってからも、養護教諭のよき理解者、先駆者としての信頼を寄せる存在であり、永きにわたり奈良県の学校保健の普及、推進に貢献している。

② 学校給食関係

〔個人〕 中島 育子（なかじま いくこ）広陵町立広陵北小学校 栄養教諭

平成6年4月から平成21年3月まで学校栄養職員として、平成21年4月からは栄養教諭として、安全安心で魅力ある学校給食の実施と、学校給食を活用した食に関する指導について学校教育活動全体を通して継続的・組織的な取組とするために中核となり取り組んできた。

令和2年度には文部科学省委託事業「つながる食育推進事業」の実践校として、学校給食を活用した食育推進について研究すると共に、その成果を県内の各学校に広く普及した。

特に地域と連携した地場産物の活用推進や、ICTを活用した食に関する指導において優れた成果を上げている。

令和4年度には、第73回全国学校給食研究協議大会において実践発表を行い食に関する指導の全体計画に基づき、教職員と連携を図り、教科横断的な視点をもった食に関する指導の実践についての取組を全国に発信した。